



被災された障害者の暮らしや支える活動を  
これからも応援していきます。

認定NPO法人ゆめ風基金や関西の様々な障害者団体・市民が協力して自然災害で被災した障害者の支援活動を20数年に渡って続けてきました。2011年の東日本大震災。その後の多くの災害で、被災した障害者(団体)への救援・支援活動を行なっていく中で様々な出会いや共同での取り組み、連携が培われています。被災地で出会った皆様とつながりながら、これからもずっと被災された障害者への応援を続けていきます。

ゆめ風基金にご協力ください

運営資金にご協力下さい。

この「被災障害者⇨関西ポジティブ生活文化交流祭」は被災障害者支援の取り組みを関西各地の障害者団体に関心あるみなさまと共有し継続していくために開催しております。そのためのご協力をお願いしております。

郵便振替 00980-1-217273  
ゆうちょ銀行  
店名099店 当座0217273  
交流祭実行委員会



イベント  
BCP研究会やります!

日時  
2022. 11. 22 (火)  
18:00-20:00  
会場調整中!!

オンライン開催も  
行います。

公式のYouTubeは  
こちらのQRコード→  
アドレスからアクセスしてください!



YouTube  
<https://youtu.be/gVWJGd9-PDQ>

主催：東北⇨関西 被災障害者支援ポジティブ生活文化交流祭実行委員会

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-13-43-106 ゆめ風基金気付

後援(予定)  
大阪府 大阪市 大阪市教育委員会 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
協力：ジェイアイシーウエスト株式会社  
助成：近畿ろうきん・社会貢献預金(笑顔プラス)

(問い合わせ)事務局:日常生活支援ネットワーク(担当:椎名)

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東3-6-10

TEL /FAX 06-4396-9189

メール [pojitivematuri@gmail.com](mailto:pojitivematuri@gmail.com)

手話通訳 手話サークルわかかさ  
デザイン 永田千砂



ずっと  
続けていく  
被災障害者救援活動

今年は  
長居公園で開催!

これまでもこれからも双方向に。

いざというときに

知ってる人と見知らぬ人とも

つながっていくために。

しつこくしつこく...

ずっと続けてく...



第13回被災障害者⇨関西

# ポジティブ生活文化交流祭

2022

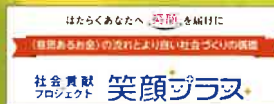
11.23 (水・祝)

11:00-16:00

長居公園  
自由広場



<地下鉄 御堂筋線「長居」徒歩5分  
JR阪和線「長居」徒歩10分>



本交流祭は、近畿ろうきん・社会貢献預金(笑顔プラス)による寄付金を活用したプログラムとして実施します。

本イベントの収益や皆様からの募金をゆめ風基金を通じて被災障害者支援に使わせていただきます。





今年  
テーマは

「これまでもこれからも双方向に。  
いざというときに知ってる人とも  
見知らぬ人とも  
つながっていくためには。」



### 「被災障害者⇄関西ポジティブ生活文化交流祭」と

**阪** 神淡路大震災から東日本大震災を経て、関西発の被災障害者救援活動はこれまで全国各地の人たちとつながり、連携しながら取り組んできました。  
東日本大震災を風化させない。障害当事者をはじめ、事情を抱えて暮らしている人たちは、いざという時に取り残される。  
大災害のときによりしんどい生活をされていることを知ってほしい、忘れないでほしい。  
こんな思いと被災地支援や障害当事者、地域福祉にかかわる人たちが交わる場をということで2011年からしつこくしつこく、ずっ~と続けてきました。

### 社会が断絶していくことを痛感しているこの2年半

**東** 日本大震災以降、風化どころか異常気象から毎年全国各地で大水害や地震が発生し、関西からも被災障害者救援活動に駆けつけてきました。ここ数年は新型コロナウイルス感染拡大もあります。  
この新型コロナウイルス感染拡大は日々の暮らしや介助の現場で様々なしわ寄せが来ています。  
災害が起きたとき、いざという時のために地域の中で多くの人とかかわり合う、まずは知り合おうという思いは常に変わりませんが、感染への恐怖やなるべく人との接触を避ける、社会活動の制限など、人と人、私たちが社会が断絶していくことを痛感しているこの2年半でもありました。  
新型コロナウイルス感染拡大は未だ収束していませんが、世の中は規制緩和の方向に舵が切られました。  
私たちはまたこの流れから取り残されるかもしれません。健康や暮らしへの不安や体調悪化や感染が周囲で広がると、介助や支援体制が厳しくなるなど、現実問題はまだまだ続いています。

### 3年ぶりに長居公園で

**集** 集まれるなら集まれる方法でやってみよう。  
とはいえ、人と人とのつながりでやってきているのが私たちの被災障害者救援活動であり、日々の取り組みでもあります。  
正直、恐る恐るでもあります。オンラインでつながることもこの2年半してきました。なかなかお会いすることの出来ない全国の方々と一堂に会することも出来ました。  
<オンライン>と<実際に会う>をいかに組み合わせていくのか。また一般の人たちとも見知り合う機会をつくっていかないと、やはりいざという時につながらない。  
ということで3年ぶりに長居公園で、名称も改めて<実際に会う>「被災障害者⇄関西ポジティブ生活文化交流祭」を開催します。



# ポジティブ生活文化交流祭



## ステージ

ステージはいつもフラット。  
地べたで歌います、踊ります。  
被災地からのメッセージや歌いたい、踊りたい関西の障害者団体のメンバーが3年分のエネルギーを爆発させます。そしていつものあの人の・あの人達の歌声に再会できます。



## 出展

関西の障害者団体や有志たち50団体が出展。  
作業所の商品だけではなく、文化祭ノリでチャレンジしたいろんな食べ物、飲み物をコミュニケーションツールとして、来場されたみなさんとのやりとりも楽しみにしています。



豊能障害者労働センターのチャリティバザーの売り上げは全てゆめ風基金に寄付されます。

